

三次市市民ホール開館10周年記念

佐渡裕 指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会

ブラスの祭典2024

佐渡 シエナ



©Takashi Iijima

©kenji Shimizu

大迫力かつ繊細なブラス・サウンドで描く
壮大な物語の世界

Aリード

吹奏楽のための交響的素描 《オセロ》

音楽のおもちゃ箱〜佐渡裕のトークと音楽〜

J-デューメイ

交響曲第1番 《指輪物語》

2023年改訂版

※曲目は都合により変更する場合がございます。

2024 11.9 土 14:00 開演 (13:15 開場) 三次市民ホールきりり 大ホール

- きりり友の会先行発売日 — 8月1日(木) 10:00~(三次市民ホール窓口・オンライン・電話)
- 一般発売日 — 8月3日(土) 10:00~(三次市民ホール窓口・オンライン・電話・PG各種)

プレイガイド

- サングリーン TEL.0824-62-1111
- ローチケ (Lコード: 62907)
- チケットぴあ (Pコード: 276-711)

全席指定

※きりり友の会は1会員4枚まで

S席(1・2階席)	一般/9,000円	きりり友の会/8,500円
A席(3階席)	一般/8,000円	きりり友の会/7,500円

お問い合わせ・お申し込み

三次市民ホール きりり

TEL.0824-62-2222 (9:00~22:00、毎週水曜日休館)

〒728-0021 広島県三次市三次町111番地1

※未就学児入場不可
 ※駐車場はきりり駐車場、隣接臨時駐車場をご利用ください(無料・500台可)
 ※車いす席、集団補聴器をご希望の方は、チケット購入の前にご相談ください(三次市民ホール窓口のみ)

便利なオンラインチケットサービスはこちらから >>



主催：三次市民ホール きりり(指定管理者:(株)ケイミックスパブリックビジネス)
後援：三次市、三次市教育委員会 制作：クリスタル・アーツ

2大文学名曲に、
 佐渡&シエナが挑む！

富樫鉄火 | 音楽ライター

20世紀最高の幻想文学『指輪物語』(J・R・R・ Tolkien)は、いままでにロックやポップスなど、様々な形で音楽化されてきた。だがもっとも多くの人に愛され、演奏されてきたのは、やはり、ヨハン・デ=メイ作曲の吹奏楽曲、交響曲第1番《指輪物語》だろう。全5楽章、45分におよぶ超大作である。シエナも2012年11月、来日したデ=メイ本人の指揮で名演を披露し、CD化もされている。

その大作に、ついに“世界の佐渡”が挑む日がやってきた！

佐渡裕は、すでに《エクストリーム・メイク・オーバー》や《カサノヴァ》などのデ=メイ作品で名演を聴かせてくれている。スピード感たっぷりに疾走するデ=メイの〈ものがたり〉と、佐渡の熱いタクトは、抜群の親和性を生んできた。今回は、その頂点となるにちがいない。なお本曲の世界初演は1988年だったが、2023年、35年ぶりにスコアが全面改訂され、初版は絶版となった。楽器編成や強弱・表情指定が変更され、まさに21世紀の響きとなっている(期せずして、原作邦訳も2022年に全面改訂され、最新版となった)。今回は、その〈2023年改訂版〉で演奏される。現在のところ、日本のプロ吹奏楽団としては最初の演奏となる予定である。

また、前半ではアルフレッド・リードの《オセロ》が演奏される。シェイクスピアの有名舞台のために書かれた劇付随音楽をもとに、5曲で構成された組曲だ。いうまでもなく、これまた文学史上に残る〈ものがたり〉である。嫉妬と誤解が招く究極の悲劇——佐渡&シエナが20年ぶりに挑む古典的名曲だ。

この2大文学の音楽——古典的名曲《オセロ》と、生まれ変わった《指輪物語》を、佐渡&シエナがどのように聴かせてくれるか、期待でワクワクしているのは、わたしだけではないはずだ。もちろん、〈音楽のおもちゃ箱〉もあるので、お楽しみに！ 〈敬称略〉

名作《オセロ》と、
 生まれ変わった《指輪物語》

佐渡裕 (シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者)

京都市立芸術大学卒業。レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。これまでバリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルンWDR交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団など、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。現在はオーストリアで110年以上の歴史を持つトーン・キュンストラー管弦楽団の音楽監督を務め、欧州の拠点をウィーンに置いて活動している。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者を務める。CDリリースは多数あり、シエナとは、大ヒット作の「ブラスの祭典」シリーズや「バーンズ:交響曲第3番」(エイベックス)などがある。最新版は、トーン・キュンストラー管との19枚となる「マーラー:交響曲第1番」。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生~指揮者は時間を彫刻する~」(PHP文庫/新書)などがある。

オフィシャルファンサイト: <http://yutaka-sado.meetsfan.jp>

シエナ・ウインド・オーケストラ

1990年に吹奏楽の可能性を追求すべく結成されたプロフェッショナルのウインド・オーケストラ。定期演奏会のほか全国各地での音楽祭やイベントへの参加、文化庁学校巡回公演等の青少年育成事業への出演、管楽器の特色を生かした多様なアンサンブルユニットによるコンサートや吹奏楽クリニック等、年間100回を超える事業を展開している。

2002年より佐渡裕が首席指揮者を務め、最近では宮川彬良、青島広志など多彩な指揮者を客演に迎えている。また2017年より狭間美帆がコンポーザー・イン・レジデンスを務め、2019年には国内外8名の作曲家に委嘱した新曲を一気に演奏するなど吹奏楽作品の普及にも積極的に取り組んでいる。2010年10月から東京都文京区および文京シビックホールとの事業提携を結び、現在は拠点として活動している。以降、学校法人尚美学園、国立大学法人上越教育大学、上越文化会館、名古屋音楽大学、静岡県富士市、富士ロゼシアター、公益財団法人びわ湖芸術文化財団と事業提携を結び、地域や教育機関と密着した活動も積極的に展開している。

オフィシャル・ウェブサイト: <https://sienawind.com/>



佐渡裕から本公演に向けた
 動画メッセージが到着！

QRコードを
 スマートフォンで
 読み取って
 ご覧ください。

